

事業者温室効果ガス削減計画書概要(第二計画期間)

1 事業所の概要

| | | | |
|--------------------|--|---------------------|--|
| 事業者の名称 | 東日本旅客鉄道株式会社 | | |
| 事業所の名称 | 東日本旅客鉄道株式会社 JR仙台病院 | | |
| 事業所の所在地 | 仙台市青葉区五橋1-1-5 | | |
| 主たる事業 | 医療業 | | |
| 事業者の該当要件 | <input type="radio"/> | 条例第2条第5号イに該当する特定事業者 | |
| | <input type="radio"/> | 条例第2条第5号ロに該当する特定事業者 | |
| | <input type="radio"/> | 条例第2条第5号ハに該当する特定事業者 | |
| | <input type="radio"/> | 条例第15条第1項に該当する一般事業者 | |
| 温室効果ガス排出抑制のための基本方針 | JR仙台病院は東日本旅客鉄道(株)の企業立病院である。エネルギーの削減に向けた取り組みは全社的に大きな関心事であり、病院も例外ではない。使用エネルギーの大半は空調設備に係るものであり、気温に大きく左右されるが、これまでの経験やデータ分析等を通してエネルギーの削減に向けて前向きに取り組んでいく。また、計画的に空調機器の老朽取替を実施し、機器の性能向上による削減効果にも期待したい。 | | |

2 温室効果ガスの削減目標等

| | | | | | | |
|-------------------|----------|---|-------|-------------------------|--------------|--------|
| 温室効果ガスの排出状況及び削減目標 | 基準年度 | 2022 年度 | 基準排出量 | 3,737 t-CO ₂ | 基準原単位 | 0.1363 |
| | 目標年度 | 2025 年度 | 目標排出量 | 3,620 t-CO ₂ | 目標原単位 | 0.1322 |
| | | | 削減率 | 3.13 % | 削減率 | 3.00 % |
| | | | 非化石電気 | 0.00 % | その他非化石エネルギー等 | 0.00 % |
| 非化石エネルギーの使用割合目標 | 目標設定の考え方 | 職員が使用する休憩室や各事務室は、職員不在時の電気の消灯や照明の間引きなどを積極的に行い、エネルギー削減に励んでいる一方で、患者さまが利用する外来や病棟に関しては節電などの取り組みがなかなか実施できていない状況である。職員の節電に対する意識の向上と、計画的な空調機器の老朽取替に伴う性能向上によるエネルギーの削減効果に期待し、3,620tを下回ることを目標としたい。 | | | | |

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

| | | | | |
|-------------|--------------------------|---|---------|------|
| 基本対策の実施計画 | 基準年度実施率 | 92 % | 目標年度実施率 | 92 % |
| 選択対策の実施計画 | 項目 | | | 実施年度 |
| | エネルギー使用量の見える化(前年度比較) | | | 実施済 |
| | エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見) | | | 実施済 |
| | 熱源設備 冷却水温度の適正管理 | | | 実施済 |
| | 熱源設備 冷却水の水質管理 | | | 実施済 |
| | 窓の断熱性向上 | | | 実施済 |
| | デマンド管理 | | | 実施済 |
| | ボイラーの給水及びブローの管理 | | | 実施済 |
| その他の対策の実施計画 | 項目 | 具体的な取組内容 | | 実施年度 |
| | 従業員の自動車利用の抑制、公共交通機関の利用促進 | 通勤は基本的に公共交通機関利用のみとし、自家用車利用の抑制を図っている。 | | 実施済 |
| | 廃棄物削減対策の実施 | 廃棄物の分別促進のため、注意喚起の貼紙の掲示を行っている。 | | 実施済 |
| | その他地球温暖化を防止する対策の実施 | ビジネスシーンを考慮し、室温に合わせて快適に執務ができる服装を着用することとしている。 | | 実施済 |